

大宜味村農業委員会だより (10月号)

次の申請締切は
10月11日(火)です。

耕作された元気な畑から村の未来が見えます。

編集・発行：大宜味村農業委員会 ☎0980-44-3477 〒905-1392 大宜味村字大兼久 157 番地

8月総会の結果報告 第15期第24回農業委員会総会 開催8月25日(月)

番号	議案	申請地域	結果	内容
71	利用権の設定-1	田港	可	島バナナ等の栽培
	利用権の設定-2	白浜	可	農地中間管理事業(サトウキビ)
72	3条の許可申請	謝名城	可	農地の売買(野菜類の栽培)
73	非農地通知	喜如嘉	可	荒廃農地調査に伴う非農地判断による通知

総会の議事録は大宜味村のホームページで公開されています。

人・農地プラン見直し地域検討会を各地域で開催中です。詳細は産業振興課まで。

島野菜講演会を開催！ 島ヤサイをもっと美味しく食べよう！！

9月9日、大宜味村農村環境改善センターにおいて村老人クラブ連合会主催による「大宜味村島野菜講演会」が行われました。講師は沖縄県農業研究センター研究員の前田剛希氏と高江洲賢文氏で、これまでの研究成果をもとに、沖縄の伝統的な島野菜について講演を行いました。

前田氏によると「現在の沖縄の食スタイルは肉食中心で野菜摂取量は少なく、長寿1位の座も長野県に明け渡してしまいました。改めて伝統的な食習慣を見直す時期が来たのかもしれませんが」「フーチバー、ニガナ、サクナなどはポリフェノールが多く、抗酸化作用があります。カロテノイド、ミネラルも豊富に含まれるため動脈硬化などの生活習慣病の予防作用が期待されている」とのことでした。

また、高江洲氏によると「食生活の変化により、島野菜、在来作物の栽培、利用が著しく減少している。一部地域ではその存在さえも忘れられている」県内には多くの離島があり、外部との交流の少ない地域ほど古くからの作物資源が残っている」とのことでした。

講演の合間には、島野菜を使った伝統の手料理のお弁当が振る舞われました。島野菜中心の弁当なので、食後はお腹がもたれず、気分も健やかで、沖縄の長寿を支えた伝統的な島野菜料理の良さに改めて気付かされました。

講演後の質疑応答では活発な意見や質問が多くあり予定時間を超過するほどの盛況となりました。



鳥獣被害に遭ったら役場に連絡をお願いします。 産業振興課より

カラス・イノシシの被害でお困りではありませんか？ 村鳥獣被害対策実施隊では、有害鳥獣による農作物の食害や、土の掘り起こし等で営農に支障のある畑を守るため、有害鳥獣の追払い・捕獲活動をしています。鳥獣被害でお困りの方は産業振興課で「有害鳥獣の捕獲依頼書」を提出して下さい。



9月4日のカラス捕獲活動の成果です。

主な鳥獣被害対策実施隊員の活動

- ・月1回の北部9市町村合同広域カラス追払い及び捕獲活動（6～2月 第1日曜日）
- ・被害報告地の巡回及び対策の実施

お問い合わせ先 大宜味村役場 産業振興課 電話 44-3232（担当：比嘉）

農業者年金に加入しよう！ もっと早く知っていれば・・・(Kさん 56才男性)

農地中間管理事業は農地を集積して、やる気のある農家に貸出します。

大宜味村の農地中間管理事業は土地改良区を中心に農地を集積を行っています。農地集積にあたっては、地権者の皆さんが納得して農地を貸していただけるように事業説明会の開催や、会への出席が難しい方にはご自宅に訪問して説明を行います。そして地権者の方が納得していただいた上で契約を行い、やる気のある農家さんへ貸し付けを行っています。

今回紹介する事業中の農地は字白浜安潟地原の15筆、面積は6,598㎡です。

9月現在では9筆、2,589㎡が契約をすませ、中間管理事業で借り受け中です。

今年中には残りの農地も中間管理の契約を済ませ、地域で頑張る農家へ貸出しをする予定です。

お問い合わせ先 大宜味村役場 農業委員会内 電話 44-3477（担当：山城）



白浜安潟地原



赤い面が中間管理事業による農地集積予定の畑です。

全国農業新聞を購読しましょう！ 良質な情報で良質な農業経営を！！

播き時期の作物（10月露地栽培）（参考：沖縄県野菜栽培要領）

サヤインゲン（わい性）、ハクサイ、シュンギク、レタス、タマネギ、ダイコン、島ニンジン